

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その1）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2023 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学 online」の場をお借りして、関市内の12企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。


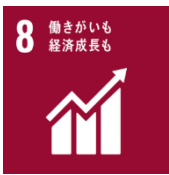
◇ 企業紹介

【(株)ちらし屋ドットコム】

ちらし屋ドットコムという社名ですが、折込チラシやちらし寿司を作っている会社ではありません。WEB事業部は、地元岐阜の企業様向けに、ホームページを中心としたWEBの活用を支援しています。またEC事業部では、Made in Japan・Made in Gifuの商品を中心に世界12カ国へ販売している会社です。



【HP】 <https://www.chirashiya.com>

関連する 主な SDGs		
--------------------	---	---

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・チラシ屋という名前なので企業の手助け(広告)しかやってないと思っていたけど、そうじゃなくて自分たちでネット通販を作っていると分かりました。また、そのネット通販を用いて地元のを売ることによってグローバルで超ローカルを実現していると分かりました。そしてSDGsについてもJIS規格に基づいた配慮(目や耳が不自由な人への)も広告業務で行っており良い企業だと思いました。

・ちらし屋ドットコムさんでは、ホームページの作成や業務効率化、日本の商品を海外へ販売するという仕事をしているということがわかりました。『グローバルなのに超ローカルなWEB会社』という目標がとても印象的でした。岐阜との関わりを大切にしながら、日本の商品を世界へと発信していくところがとてもすごいと感じました。日本の伝統的なものをもっといろいろな国の方に知ってもらいたいです。ウェブアクセシビリティについて知って、ホームページを見るときに確認してみたいと思いました。これからの社会を考えて、ウェブアクセシビリティやZERO PCなど、さまざまな人や環境のことを考えた取り組みをしています。今日の話聞いて、自分から興味を持ち、仕事やシステムなど調べ

てみたいと思いました。

・ちらし屋ドットコムさんの話を聞いて、私は少人数であっても海外に岐阜の製品を販売してグローバルに活躍できることに驚きました。海外に関の刃物は人気だと思し需要もかなり高いと思います。また、環境にやさしいzeroPCを利用されているということでSDGsにも貢献されていて凄いと思いました。確かにSDGsは他人事ではない問題なので私もできることはしたいと思います。

・ちらし屋ドットコムの講義を受けて、非常に有益な時間を過ごしました。講師の知識と情熱に感銘を受け、新たなウェブデザインの手法やコーディングのヒントを学びました。実践的なデモンストレーションや実際のプロジェクトの事例紹介は、理論を実践に結びつけるのに役立ちました。また、チームワークやクライアントとのコミュニケーションの重要性についても学び、地域にあった物を制作していく重要性を学びました。今後、これらの知識を活かしてより魅力的で機能的なウェブページを制作するよう心がけたいと思います。

・ちらし屋ドットコムの講義を聞いて、グローバルなのに超ローカルという、関市のようなあまり人がいない地域なのに、国内の色々な学校や企業を支えていたり、海外へ商品の販売をしているということに驚きました。そして、将来自分もそのようなことに挑戦してみたいなど思い、様々なことに興味をもてました。今日は、自分の知らなかったことを多く知ることが出来ました。ありがとうございました！

・地域での取り組みに参加しながらも、広く世界を相手にしていて、両立させていることが凄いなと思ったし、それにプラスしてSDGsにも関わりがあることに驚いた。岐阜からでも世界で商品が売ることができると目に見えて分かったので楽しそうだなと思った。企業のホームページ作りに興味があったので実際に働く方の話も聞けていい機会になりました。ありがとうございました。

・SDGsの取り組みの一環として、Webアクセシビリティの向上に努めたり、社内の会議では積極的にリモート会議を活用したり、再生パソコンを活用したりするなど、多岐にわたって活動していることが分かった。特に、再生パソコンの利用については、近年半導体が不足していることへの回答になりうると思ったので、関市の企業だけでなく、この活動が全国のパソコンを使う職場で広まっていけばいいと思いました。

・地元企業という事でローカルに重きを置いた営業形態をしているのかなと勝手に思っていたけれど、EC事業部を通して海外に対する具体的なアプローチも強めて、さらに海外と地元を繋げる事で地元の活性化に貢献していて、「地元企業」に対するイメージが大きく変わりました。また、SDGsに対しても環境に優しいzero pcを導入したり、WEBを扱う会社ということでWEBアクセシビリティにも気を払うようにしたりと、活発に取り組んでいてSDGsをより身近に感じる事ができました。

・今回の講義を聞いて、世界に向けて活動するためには地元の人々を大切にすることが大事だということを知りました。今まで自分は、グローバルな会社または企業であるならば世界

の人々だけに焦点を当てて取り組みを行ってあげれば良いと思っていたので少し驚きました。地元の人々を大切にすることで、地元企業の活性化や町自体の活性化にも繋がると分かりました。そのため、将来もし自分がグローバル企業に入っても、地域を大切にしていれば良いまちづくりにも取り組みたいと思いました。ちらし屋ドットコムの皆様、本日はこのような貴重で有意義な時間をつくって頂きどうもありがとうございました。

・今回の講義を聞いて、「グローバルで超ローカル」というワードが一番心に残りました。岐阜の商品、そしてそれを通じて日本の文化を世界に発信するというグローバルな視点。関の工場見学などのジモトの活動に積極的に参加するローカルな視点。この両方を両立しているのがすごいと感じました。SDGsに付いての活動では、zeroPCという取り組みを始めて知りました。ちらし屋ドットコムさんはwebの活動をされている会社だけれど、インターネット内の活動だけでなく、それに関連した現実の社会問題にもアプローチしているのに驚きました。

・地方の企業から海外へと発信できるということへのロマンを感じたし、すごく驚きました。また、色んな企業と関わること、社会の情勢などを把握できることがこの会社の強みでもあるかなと感じました。グローバルとローカルの相対したもの同士を両立というところがすごく興味深かったです。エコなパソコンがあるということにも驚きました。情報社会ということもあり、Webを利用した企業のお手伝いを行っていて面白いと思いました。

・今回の講座を受けて、色々なことがしれましたが、一番印象に残ったのはグローバルとローカルの両立でした。企業さんでこんなことを意識しているのは非常に少ないものと思います。ですが、そこに焦点を当て、街の活性化も兼ねて活動されているのが、すごく興味深く、さすがと思いました。それに加えて、活動に比べ、社員さんは堅苦しくなく、リラックスして仕事に携わっているのが伝わりました。これもちらし屋ドットコムさんの企業としての売りであると思います。すごく貴重なことが学べたと思います。ありがとうございました。

・はじめて「ちらし屋」と聞いたとき、「なんでちらしとITが関係するのだろう」と思いましたが、ホームページ関係ということで、なるほどと思いました。EC事業部の活動が、地元のもの、日本の文化を海外へとアピールすることにつながる、良い活動だと感じます。また、zeroPCを使っていることで、少しでも地球にやさしいものを取り入れるように努力していることが分かりました。最後に話されていた、「SDGsが他人事で済まなくなる時代が既にきている」ということが、すごく感じているので、自分まずは小さなことから意識したいです。